



ミスター・セントーン

ヒロ斎藤

ヒロ斎藤

(ひろ・さいとう)

1961年5月25日生まれ、神奈川県川崎市出身。プロレスラー。本名・斎藤弘幸。中学生の頃よりプロレスラーを志し、1978年に新日本プロレスに入門。同年8月26日、魁勝司戦でデビュー。その後はメキシコ、カナダを転戦し、1985年1月に帰国。ザ・コブラのライバルとして活躍をしてWWFジュニア王座を獲得した。同年8月に新日本を離脱してスーパー・ストロング・マシン & 高野俊二とカルガリー・ハリケーンズを結成すると全日本プロレスを主戦場に選ぶ。1987年4月、新日本へカムバックを果たし、ブロード・アウトローズやレイジング・スタッフを結成して活躍した。1995年には蝶野正洋らと狼軍団、そして一世を風靡したnWoジャパン、TEAM2000、クレイジー・ドッグスとことごとくヒール道を邁進。2006年1月に新日本を退団。無我を経て、現在は藤波辰爾と行動を共にし、レジェンドレスラーのひとりとしてリングに上がり続けている。

「入門テストでは身長で何度も落とされたんですよ。でも大工の見習いをやりながら身体を鍛えてようやく入門させてもらったんです」(ヒロ)

ガンツ 友達の友達はみな友達だ。というわけで、今回のゲストは前回出ていただいた保永昇男さんからのご紹介で、ヒロ斎藤選手に来ていただきました！

玉袋 やった〜！ ヒロさん、お待ちしてました！

ヒロ ボクなんかでいいんですか？

玉袋 もちろんですよ！ これまでもずっと出ていただきましたかったんですけど、なかなかチャン스가なくて。

ヒロ ボクは口下手ですから。取材とかも苦手なんです。

ガンツ それで前回、保永さんに「ヒロさんにも出ていただきたいんですよ」って話を何気なくしたら、「あつ、そう？ じゃあ、いまから電話するよ」ってその場で電話していただいて(笑)。

玉袋 まさに『笑っていいとも！』だよ(笑)。

椎名 本物の『いいとも！』よりガチなお友達紹介ですもんね(笑)。

ガンツ ですから今日は、ヒロさんの職人一代記を聞かせていただけたらと思います！

ヒロ いや、職人だったら保永選手でしょ。

玉袋 あの人は職人は職人でも、植木職人ですから(笑)。

椎名 新日本プロレス入りするとき、親に言い出せなくて「新日本植木に勤めてる」って嘘つい

てたという(笑)。

ヒロ 保永選手、そこまでしゃべってるんですか？　じゃあ、ボクも正直にいろいろ話さないといけないんですね(笑)。

ガンツ よろしくお願ひします(笑)。ヒロさんがプロレスを目指したきっかけはなんだったんですか？

ヒロ ただ家にいたくなかったんですよ。親父とうまくいってなかったんで早く家を出たくて。

玉袋 お父さんはもちろんカタギですよね？(笑)。

ヒロ 大工だったんですけど、酒飲むとクセが悪くて。いつも殴られてたんで早く家を出たいなって。それで中学卒業してすぐ家を出たんです。

玉袋 うわっ、早え！

椎名 それで仕事としてプロレスラーを選んだんですか？

ヒロ そうですね。もともとプロレスは好きじゃなかったんですけど、中学のときに兄貴がプロレスを観に来て行ってくれて。そのとき「あつ、これをやろう」と思つて。

玉袋 プロレス初観戦が、職場見学^がだったんですか(笑)。

椎名 喧嘩が好きだったわけではない？

ヒロ いや、好きです。

玉袋 好きだったんだ(笑)。保永さんは足立区で喧嘩してたらしいですけど、ヒロさんはどちらのシマで？



ヒロ ウチは川崎ですね。

ガンツ 川崎！ 足立区に負けず劣らずいいところですね。(笑)。

椎名 別名、川崎国。(笑)。

玉袋 ヒロさんも保永さんも、ブロンド・アウトローズの下地ができてるんだよな。(笑)。

椎名 中学を卒業したあと、すぐ新日には入れたんですか？

ヒロ いや、身体が小さかったんで入門テストで体力的にはクリアしても、身長で何度も落とされたんですよ。でも大工の見習いをやりながら身体を鍛えて、10回以上通いつめてようやく入門させてもらったんです。

椎名 10回ですか!? それ、期間的にはどのくらいかかったんですか？

ヒロ 1年以上かかりましたね。途中で諦めるってことはなかったんですけど。

玉袋 その執念とやる気が小鉄さんに伝わったん

だろうな。当時、新日道場には誰がいた頃ですか？

ヒロ 自分のすぐ上が前田日明で、3カ月あとに平田（淳嗣）選手が入ってきて。ただ、歳は向こうが5つ上だったんでボクが敬語を使って。その後、保永選手とか仲野信市、高田延彦が入ってきて。あとはジョージ高野っていうのが、もともと佐山（サトル）さんと同期だったんですけど、相撲界に行ったり、芸能界に行つて『アステカイザー』に出たりしてたじゃないですか？

玉袋 『プロレスの星アステカイザー』観てましたよ（笑）。

ヒロ それで出戻りだったので、もう先輩後輩もないって感じで。

ガンツ でも素晴らしいメンバーですよ（笑）。

玉袋 最高だよ（笑）。寮生活はやっぱ厳しかったんですか？

ヒロ いや、練習は厳しかったけど、寮生活はそんなでもなかったですね。ただ、最初に「門限21時」って言われたときは「子どもじゃねえんだから、守ってられないだろ」って思いましたけど。

ガンツ ヒロさんが合宿所で一番子どもだったのに（笑）。

ヒロ それでよく、みんなで渋谷に夜遊びしに行きましたよ。普段は喧嘩してても、そういうときだけはみんな仲良くなっちゃって。

椎名 一緒に門限を破るんですもんね（笑）。

ヒロ あと恵比寿駅の近くに平田選手行きつけのお店があって、そこにもよく行って。

ガンツ 平田さんは渋谷で住み込みの新聞配達をやってたから、あのへん詳しいんですね（笑）。

椎名 新聞配達といえは新宿はタイガーマスクだけど、渋谷はストロングマシンだったという（笑）。

玉袋 じゃあ、けっこう楽しい新弟子生活でもあったんですか？

ヒロ 寮生活はいいんですけど練習がとにかくキツくて、1日目、2日目でもうダメかと思いましたが。それでも限界だと思ったとき、あんまり仲良くなかった前田さんに「今日我慢できたんだったら、明日も我慢できる」と言われて。「あつ、そうかな」と思って、それでなんとか辞めずに済んだんですよ。

「上田馬之助さんに『金髪に染めさせてもらってもいいですか？』って聞いたら最初は断られたんですよ」（ヒロ）

玉袋 「あまり仲良くなかった」というのがいいな（笑）。

ガンツ 当時は前田さんとヒロさんが合宿所でいつも口喧嘩して、最後に平田さんが頃合いを見計らって、「まあまあ」として大人の仲裁に入るって話を聞きましたよ（笑）。

玉袋 そのトライアングルができてたんだな（笑）。

ヒロ 平田選手は5つ上で、保永選手は7つ上だから、みんな歳上だったんですよ。前田日明は2つ違いで近いから、どうしてもそこぶつかって（笑）。

ガンツ 10代同士でぶつかるわけですね（笑）。

玉袋 前田さんもともと喧嘩屋だったわけだしね。

椎名 大阪vs川崎で。いいボクサーが育ちそうな土地ですもんね(笑)。

ガンツ そのキツイ練習を経て、デビューまではどれくらいかかったんですか？

ヒロ 一年以上かかりましたね。魁勝司さんに相手してもらって。

玉袋 おー、また渋いところですね！

ガンツ 当時は前田さんのデビュー戦も山本小鉄さんでしたし、大先輩が相手することが多かったんですね。

ヒロ そうですね。そうじゃないと、試合にならなかつたんだと思います。ボクもリングに上がったら頭の中が真っ白で、試合時間10分いくかいかぐらいでしたけど、疲れて動けなくなりましたから。

玉袋 たかが10分、されど10分だよ。試合後は魁さんが「おまえ、よかつたぞ」みたいな感じで、言ってくれたりするんですか？

ヒロ いや、小鉄さんに殴られましたね。

玉袋 うわっ、厳しい！

ヒロ 控室に戻ってきたらいきなりぶん殴られて。

椎名 出来が悪いってことで？

ヒロ はい。どこが悪いとか、具体的に言われるわけじゃないんですけど。

ガンツ 食らわせて、「あとは自分で考えろ」ってことですか？

ヒロ はい。

ガンツ エグいですねえ(笑)。

玉袋 あの頃の新しいの前座は、技の制限があったって言うじゃないですか。少ない技の中で闘志を見せないと殴られちゃうわけですか。

ヒロ そうですね。派手なことをしたらよけいに殴られるんですよ。ドロップキックも1発ならいいんですけど、チャンスだと思って2回も3回もやったら、控室に戻ったあととはもう……。

玉袋 とにかく技じゃねえんだと。気迫で客をつかむんだと。それは大事ですよ。

ヒロ のちに海外から帰ってきて上田馬之助さんとタッグを組ませてもらったときも、「同じ技を何度も使うな」ってよく言われましたから。

ガンツ ヒロさんは帰国後、一時期上田さんと同じ金髪のヒールコンビを結成してましたもんね。

ヒロ その前にカナダにいる頃、金髪にするときには上田さんにことわりの電話を入れてるんですよ。

玉袋 元祖・金狼にちゃんと許可を得た金髪だったんですね。

ヒロ 海外から上田さんの自宅に電話して、「新日本プロレスの斎藤と申します。金髪に染めさせてもらってもいいですか？」って聞いたたら、最初は断られたんですよ。当時は金髪が上田さんしかいなかったのだから。

ガンツ 上田さんの唯一無二だったキャラクターを使うことになるわけですもんね。

ヒロ でも理由を話してお願いしたら、「半端な気持ちで染めるんじゃないならやれ」って言って

もらえて、それで金髪になったんです。

椎名 なんで金髪にしようとしたんですか？

ヒロ プロモーターに言われたんですよ。

椎名 でも日本人なのに金髪なんですか？

ヒロ カルガリーだったんですけど、スチュ・ハートの息子たちが変なことばかり考えるんですよ。それで「金髪にしろ」^{※十三}って言われて。

ガンツ 平田さんは「おまえはインディアンになれ」って言われて、モヒカン刈りにさせられたんですよね。あれと同じですか？（笑）。

ヒロ そう。あれもブルース・ハートですよ。アイツ、イタズラ好きだから。

椎名 イタズラでそんなキャラにしていたんですか（笑）。

玉袋 下手すりゃ、「チョンマゲにしろ」とか「文金高島田にしろ」って言われた可能性もあるぞ。

椎名 悪ふざけが過ぎるんですね（笑）。

ガンツ それで平田さんがインディアン、ヒロさんはマレーシア人でしたっけ？

ヒロ そうです。よくご存知ですね（笑）。ジョージなんかカンボジア人ですから。

玉袋 猫ひろしより先に、ジョージ高野のほうがカンボジア人になってたのかよ！（笑）。

ガンツ 当時のカルガリーはカナダ先住民、マレーシア人、カンボジア人と、かなり国際色豊かだったんですね（笑）。

ヒロ みんな普通に日本語でしゃべってましたけどね（笑）。